



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を
込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2026
Vol.246

世代間交流（上諫早地区）

子育てサロン（多良見西地区）

災害への取り組み（森山地区）

ふれあい見守り活動（多良見東地区）

ひとり暮らし高齢者の集い（北小校区）

通学合宿（西諫早小校区）

交流

見守り

支え合い

住民の力で支え合う
地区社協活動

ふれあいきいきサロン（高来地区）

地域には、ひとり暮らしの高齢者の見守りや子育て支援、防災など、暮らしに関わるさまざまな課題があります。これらの課題に向き合うには、地域ならではのつながりや住民一人ひとりの力が大きな支えになっています。皆さんのお住まいの地域にある「地区社協」では、交流や見守り、支え合いの活動を通して、安心して暮らせる地域づくりを進めています。まずは、地域での取り組みについて知り、参加してみませんか。

おしらせ

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

あなたの
「かんしゃ」
募集します!!

応募方法 ……
右の二次元コードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、
社協へ郵送してください。採用された方には**クオカード500円分を**
プレゼントいたします。今月のイラストはももかさん、文字は
ベビーチーズさんにかいていただきました。ありがとうございます。



地区社協とは

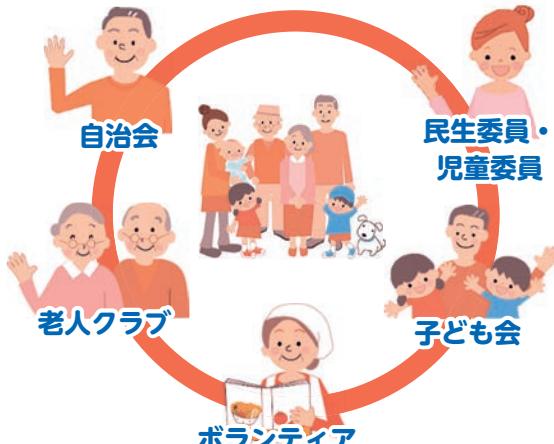
地区社協は、誰もが安心して暮らせる地域を目指して、私たちの住むまちで福祉活動を進めることを目的とした住民主体の組織です。

住民のみなさんから自治会・町内会を通じて納入された会費と行政や市社協からの助成金を主な活動財源として活動しています。

地区社協は、地域で生活している人だからこそ共感できる福祉的な課題について話し合いながら、様々な活動に取り組んでいます。

本市では、市内全域で20の地区社協が組織され、活動しています。

地区社協のイメージ



地区社協は、自治会や民生委員・児童委員、老人クラブなど様々な人達で構成されています。

地区社協が目指すもの～交流・見守り・支え合い～

○ 交流（参加・つながり）

人と人とのふれあう機会を設けることで、互いのつながりを深め、単なる顔見知りから、互いに声をかけ合える関係へと広げています。

- ・ふれあいきいきサロン
- ・子育てサロン
- ・世代間交流事業 など

ふれあいきいきサロンでは、高齢者が同じ地域に住む人達と交流を楽しんでいます。



ふれあいきいきサロンの様子



三世代グラウンドゴルフ大会の様子

世代間交流では、子どもや高齢者など普段ふれあうことが少ない人達が交流を深めています。

○ 見守り（気づき・発見）

地域住民同士のつながりができると、自然とお互いを気にかけ合い、地域での見守りにつながります。

地区社協では、地域の特性に合わせ、できる形での見守り活動に取り組んでいます。

- ・ふれあい見守り活動
- ・福祉協力員の設置 など



ふれあい見守り活動の様子

飯盛地区社協では、月に1回ひとり暮らし高齢者のお宅を民生委員が見守りを兼ねて訪問し、お弁当を渡しています。

○ 支え合い（生活支援）

ひとり暮らしの高齢者など、身近に頼れる人がいないと、自分ひとりではなかなか解決できないちょっとした困りごとが出てきます。地域住民同士で助け合う体制を作ることで、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。

- ・生活支援ボランティアの実施 など



ゴミ捨て支援の様子

有喜地区社協では、ひとり暮らし高齢者のちょっとした困りごとに対応する「うきうきお助け隊」を組織し、活動しています。

※地区社協によって取り組み内容は異なります。

地域とともに歩む～地区社協の現場の声を聞いてみました～

みんなが楽しく 参加できる地域づくりをめざして



西諫早地区
社会福祉協議会

会長 竹口 広介

私が一番大切にしているのは、「みんなが楽しく参加できること」です。自分自身が活動を楽しむことで、自然と雰囲気が明るくなります。また、地域のみなさんから気軽に声をかけていただけることも励みになっています。日々のあいさつや声かけが、さりげない見守りにもつながっていると感じています。

活動では、型にはまらない住民同士の交流や語らいを大切にし、少数意見にも耳を傾けるよう心がけています。希望に沿えない場合も、理由を丁寧に伝え、互いに納得できる関係づくりを大切にしています。ひとり暮らし高齢者の集いなど準備は大変ですが、皆さんの笑顔を見ると大きなやりがいを感じます。地区社協の魅力は、地域の変化に気づき、住民同士の絆を深めていけるところです。今後は若い世代にも参加を呼びかけながら、時代に合った地域づくりを進めていきたいと考えています。



西諫早小学校区
社会福祉協議会

事務局長 大島 健一

人と人のつながりが育む、地域の力



単身赴任が多い仕事柄、地域で知っていたのは両隣の住民だけでした。そんな中、民生委員をしていた職場の先輩の勧めをきっかけに、自治会長に申し出て民生委員に就任。地区社協の活動に参加する中で、地域のためにもっと力になりたいと思い、事務局長を務めることになりました。

地区社協の魅力は、住民とのふれあいに加え、他の自治会や老人会、婦人会など多様な人たちとの交流が広がることです。多くの学びがあり、人生勉強にもなっています。特に印象に残っているのが「通学合宿」です。不安そうだった子どもたちが、地域住民と公民館で生活を共にする中で自主性を育み、会話や笑顔が増えていく姿に成長を感じました。合宿後も交流が続いていることが、地域の力を物語っています。これから多くの人とつながりあい、力を合わせ、笑顔で安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと思います。

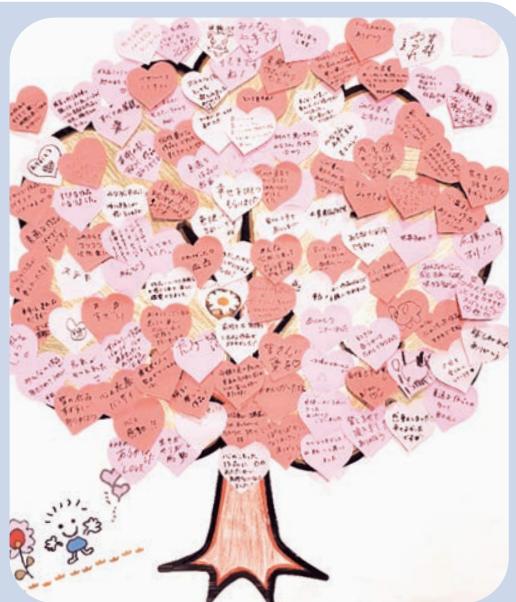
心の花展（HeART展）を開催しました!!

11月12日から16日まで、障害のある人々の美術・手工芸作品の展覧会を開催しました。

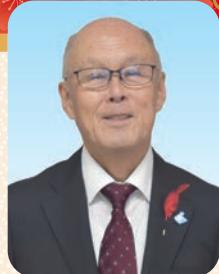
会場には「幸せをもらいました」「心がぽかぽかになりました」「沢山の勇気をもらいました。胸があつくなり心がほっとした」など、多くの感想が寄せられ、「HeARTの木」にたくさんの“心の花”が咲きました。ご来場ありがとうございました。

なお、1月30日までWEB展を開催しています。
ぜひご覧ください。

WEB展は1月30日まで開催中!



多くの感想が寄せられた「HeARTの木」



新春 インタビュー

寺井雄一会長に社協の活動、 地域福祉について伺いました。

■ 2025年はどのような1年だったでしょうか？

福祉的視点で振り返ると、社会保障・福祉制度の見直しや課題への対応・活動の広がりが求められた年でした。

継続的な物価高騰で国民は苦しみました。国内外で政情不安になり、激動の一年だったと感じています。

■ 一番記憶に残っている事業は何ですか？

ピース文化祭の一環として「心の花展（障害者美術手工芸作品展）」が一番記憶に残っています。その作品に触れ、深い感動を覚えました。一つ一つの作品には、作者の大切な思いや日々の願い、そして生きる力が込められていると感じました。作品は言葉だけでは伝えきれない心情、心の世界を私たちに示してくれます。障害があるからこそ生まれる表現や視点がそこになります。私たちは、その思いを受け取り、互いに理解し合える社会をつくるなければいけないと強く思いました。

■ これから諫早市社協が目指す姿を教えてください。

これまで言われてきたことですが「地域共生社会」の実現が重要課題だと考えています。そのためには

1. 社会情勢を踏まえた包括的な相談支援の強化充実
2. 相談窓口の整備と効率化
3. 関連団体との協働強化

市民の期待に応える諫早市社会福祉協議会であります。

■ 新年に向けての一言をお願いします。

子ども、高齢者、障害者、外国人などみんなが安心して暮らせる一年になればと願っています。諫早市社協としても使命感をもって積極的に責務に努める必要性を強く感じています。



ご寄附ありがとうございました

（令和7年12月1日～12月31日受付分）

- | | |
|------|---|
| 忌明寄付 | ▶ 藤田晴幸 様（鷺崎町）【亡母 弘美様】 |
| 篤志寄付 | ▶ 飯盛西小学校5年生 様 |
| 物品寄付 | ▶ 生長の家諫早道場 様
▶ 長崎県南部地区郵便局長会諫早市第一部会 様 |

ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使わせていただきます。

編集
発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地

TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101

ホームページ <https://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

2月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談

開設日	月曜日～金曜日（祝日を除く）
開設時間	午前10時～午後3時
場所	ふれあい福祉相談センター（諫早市社会福祉社会館内） 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

無料専門相談

開設日	2月26日(木) 弁護士
開設時間	午後1時30分～4時
場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報紙に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆さまから募集しています。